

大分アジア彫刻展

OitaAsian Sculpture Exhibition

野外彫刻マップ

朝倉文夫記念公園マップ 写真とあわせてご覧ください。



- 1 SUPPORTER**
サポーター
(第6回 優秀賞)
- 2** 西村 正徳 (兵庫県)
- 3** 朝倉文夫記念館前
- 4** 「自然と人工」うまく支え合わなければうまく存続できなくなる。それを緑体(自然)と赤い枠(人工)で表現してみた。自然とずっと付き合っていくサポーターのように。



- 1 夢の跡**
REMAINS OF A DREAM
(第6回 優秀賞)
- 2** 平石 厚史、森 貴也、藤田 収哉、川井 明子、岡崎 きよみ、田中 沙和
- 3** 朝倉文夫記念館前
- 4** セミは6、7年を土のなかで幼虫として過ごし、成虫として過ごすのは約2週間といわれている。抜け殻は成虫を目指した夢のあった場所。夏に命のある限り鳴き続けられるのは、その6、7年があるからかもしれない。



- 1 土のおもし**
THE WEIGHT OF GROUND
(第6回 大賞)
- 2** 上條 文穂 (沖縄県)
- 3** 朝倉文夫記念館前
- 4** 7トンの粘土を積み上げながら、人の生き死にの場である大地の厚み、堆積された時間について考えた。



- 1 GROWTH**
成長
(第2回 大賞)
- 2** ラムラン アブドゥーラ (マレーシア)
- 3** 文化ホール横
- 4** 神は生き物それぞれに形を与え、その生命を吹き込んだ。比喩的にはこの形は植物の姿から得たもの。



- 1 Gate**
門
(第5回 大賞)
- 2** オ セムン (韓国)
- 3** 文化ホール横
- 4** 女性の身体の一部を表現したもの。母親の子宮から出てきた人間がもう二度と帰られない時間と空間を、腐食して変化する鉄を材料として表現。



- 1 人間は神話を捨て去ることが出来るのか**
Is it possible for human beings to discard myths?
(第3回 大賞)
- 2** 戸田 裕介 (埼玉県)
- 3** 文化ホール横
- 4** 人間の営みのなかで壊されていく自然。自然の力でゆっくりと、時に突然破壊されてしまう人間の生活。一方で、人間により守られていく自然、自然により育てられている人の命。二つの対立したのではなく、一つの流れとして考えている。

日本の近代彫刻の基礎を築いた朝倉文夫の偉業を顕彰し、1992年から開催されている大分アジア彫刻展。今ではアジアの新進彫刻家の登竜門として世界の注目を集める彫刻展となっています。その入賞作品が、豊後大野市と大分市の各地で見られます。躍動するアジアのアーティストの息吹を、ぜひ感じ取ってください。

朝倉文夫記念館・公園 (<https://www.bungo-ohno.jp/>)

「東洋のロダン」といわれる彫刻家・朝倉文夫先生の偉業を顕彰する記念館では、先生の作品を学生時代から晩年の作品や遺品などを展示しています。のどかな自然に囲まれた園内には、大分アジア彫刻展の作品が展示され、散策しながら近代から現代に受け継がれる彫刻の魂を感じ取ることができます。

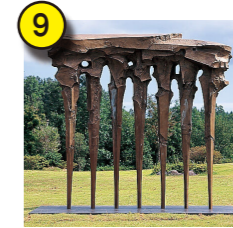
- 凡例**
- 1** 作品名 (第何回 受賞名)
 - 2** 作者名と居住地 (受賞時)
 - 3** 設置場所
 - 4** 作者のコメント



- 1 Civilization of language**
ことばの文明
(第1回 大賞)
- 2** チェ ソドン (韓国)
- 3** 文化ホール前
- 4** 自然と芸術がテーマ。自然石が持つ自然な美と、その石に人為的に手を加え、それら全体から出る古代文明的なモチーフを表したものを。



- 1 POINTED SKY**
空を指す
(第3回 準大賞)
- 2** イドリス ビン アワン (マレーシア)
- 3** 第2駐車場
- 4** 民族は人々を守る神を信じていたが、この頃は武器が人間を守る象徴となった。この彫刻には円形や三角形が隠れている。中央にある円形は人間、三角形は人間と神、人間と人間、人間と自然の関係を表している。



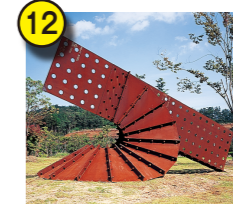
- 1 WORK・「凍」**
WORK "Be Frozen"
(第3回 優秀賞)
- 2** 橘原 北悠 (富山県)
- 3** 第2駐車場
- 4** 「凍」という一つの自然現象に、大自然の静寂の奥に秘められたゆるぎないエネルギーを感じ、ここに人と自然の関わりの真理を見いだせると考えた。



- 1 水の大地**
An Earth Full of Water
(第1回 優秀賞)
- 2** 児玉 士洋 (東京都)
- 3** 第2駐車場
- 4** 自然の恵みと力強さ、人間文明との出会いとやすらぎを半円形の対峙する形で表現した。



- 1 海恋**
LOVE OF THE SEA
(第5回 優秀賞)
- 2** 陳 卓明 (中国)
- 3** 第2駐車場
- 4** 人間と自然の調和のとれた、互いに依存する恋しい関係を表している。今までに経験した感情的な噴出、衝突、心の傷跡が漂う。



- 1 星の光芒**
The Trail of a Comet
(第1回 優秀賞)
- 2** 田邊 朗 (京都府)
- 3** 水車小屋付近
- 4** 鉄は人類とともに長い時を過ごし、その表情は時の流れにつれて変化する。鉄はいくつのほうき星を見てきたのだろう。今、鉄の星は大地にあり、移ろい行く時を表現する。

13



- 1 集積
ACCUMULATION
(第3回 優秀賞)
- 2 今溝 訓 (岐阜県)
- 3 国道442号線沿い(朝地町栗林)
- 4 偶然・人為的・・・そのようなことに関係なく物が集積された状態にあるとき、その放たれるエネルギーに私は狂喜する。

14



- 1 器
Vessel
(第1回 準大賞)
- 2 梶野 敬介 (愛知県)
- 3 旧朝地支所前
- 4 「火の神々」が住むこの九州で、このような機会が得られたことに感謝。きっとこの器も喜んでいだろう。

15



- 1 未知なる世界への響
A Ring to The Unknown World
(第1回 優秀賞)
- 2 水田 勢二 (兵庫県)
- 3 JR朝地駅
- 4 石を分割、集積することにより、風・空気・光・音を感じさせようと欲張りなことを考えた。

16



- 1 Pipe-Line
虚の輪郭
(第5回 準大賞)
- 2 矢田 秀人 (大阪府)
- 3 国道57号と緒方線の交差点
- 4 石を削り取り去った不在部分、曲面に削り取った不在部分、何も無いところには宇宙まで貫く「虚」の空間をはらんでいる。そこに新たな視点で「実」を見ることができれば。

17



- 1 「暁」
"AT DAWN"
(第2回 優秀賞)
- 2 鎌田 恵務 (福岡県)
- 3 道の駅 あさじ
- 4 遠い記憶のなかで輝く空・風・鳥・山・森・水・星・小さな命たち・・・この美しい大地の思い出を守りつづけてほしい。

18



- 1 MENTAL BLOCK
精神の塊
(第3回 優秀賞)
- 2 ダン ララリオ (フィリピン)
- 3 朝地町 サンサン通り横(道の駅の前)
- 4 長い間テーマにしている枕の作品。「メンタル・ブロック」には二つの意味があり、一つは「考えの詰まった塊」。もう一つは「作家の行き詰まり」を表している。

大分アジア彫刻展野外彫刻マップ

凡例

- 1 作品名(第何回 受賞名)
- 2 作者名と所在地
- 3 設置場所
- 4 作者のコメント

作品1~12は朝倉文夫記念公園内に展示されています。詳細は裏面をご覧ください。

問い合わせ先
大分アジア彫刻展実行委員会(朝倉記念館内)
 TEL 0974-72-1300 FAX 0974-72-1302
 〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田 1587-11



- 1 大気の中に
IN THE AIR
(第2回 優秀賞)
- 2 宮地 豊 (東京都)
- 3 道の駅 原尻の滝
- 4 朝の気持ち良い空気、夏の暑い空気、冬の厳しい空気、私たちは常に大気に包まれている。



- 1 A Tale of Two Boundaries
二つの境界線の話
(第6回 準大賞)
- 2 アブドル ムルタリブ ムサ (マレーシア)
- 3 道の駅 きよかわ
- 4 社会には、善と悪、戦争と平和、真理と虚偽など、すべての話には二つの相反する側面がある。もしかすると、真実はその間にあるのではないだろうか。



- 1 THE GLOW OF SUNSET
夕暮れの輝き
(第3回 優秀賞)
- 2 キム ヨンボン (韓国)
- 3 三重町 エイトピアおおの(中庭)
- 4 日暮れ頃の女人の美しさを単純な形態で表現。鉄板を自然に腐食させ、夕方の雰囲気強調した。



- 1 ウエーブ
WAVE
(第2回 優秀賞)
- 2 岡村 光哲 (埼玉県)
- 3 三重町 エイトピアおおの
- 4 一見、平穏にみえる現代社会、しかし、静かな中にも変動しようとする世界をかいま見ることができる。そんなゆれ動く現代を表現した。



- 1 敞開的門
THE OPENING DOOR
(第6回 優秀賞)
- 2 楊 志強 (中国)
- 3 道の駅 おおの
- 4 真っ赤な透かし彫りの城と金色の飾りで中国の伝統的な文化、美意識を表現している。開いた門は中国の行方を象徴している。



- 1 FUTURE
未来
(第5回 優秀賞)
- 2 上山 原吾 (埼玉県)
- 3 千歳支所広場
- 4 明日という未知の世界へ、期待と不安を抱きながら臆することなく果敢な気持ちで向かおう。そこにきっと大きななにかが・・・



- 1 文明の柱
PILLAR OF CIVILIZATION
(第5回 優秀賞)
- 2 高嶋 直人 (福岡県)
- 3 犬飼町 下津尾交差点
- 4 文化は人を育むものだとすると文明はどうだろう。文化を築いていくことが我々の仕事だと思う。文明がさらに発展することがよいことなのかどうか未だにわからずにいる。



- 1 MUSEUM (MUSEUM-PIECE)
博物館
(第2回 準大賞)
- 2 キム ソンヒ (韓国)
- 3 大野川大橋(西側)
- 4 自然・平和・宗教・人間・戦争をテレビの映像として表現し、人類歴史の宝庫博物館で象徴化した。



- 1 大地の詩
POEM OF THE EARTH
(第2回 優秀賞)
- 2 浅野 卓司 (愛知県)
- 3 大野川大橋(東側)
- 4 大地に眠る遺跡は、時間や空間を超えた「何か」を語っている。この作品のテーマは「何か」の探究である。